

令和3年7月16日開催

総務常任委員会資料【所管事務調査】

○住民自治・地域自治、地域協議会制度について

「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた対応について 1～3

「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた対応について

1 概要

- ・第4期地域協議会委員へ依頼した「地域協議会に関する意識調査」の回答の傾向から改善を要すると考えられるもののうち、比較的速やかに取り組むことが可能な項目を抽出し、その取組を検討・実施する。
- ・中長期的な検討を要すると考えられるものについては、回答の内容から課題を洗い出し、令和6年の次期委員改選を目途として検討を継続する。

2 取組（案）

- ・各設問の回答について、「具体的にどのような部分、分野に対するものか」の観点から細分化して整理し、回答の多かった主な課題について、短期的に実施が可能な取組と中長期的に検討を要するものに分類した。

○短期的な取組（案）

（1）市が行うもの

	主な回答	取組（案）
1 周知	<p>委員の活動への職場や家庭等の理解の向上 地域協議会の認知度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の活動について、仕事や家庭等との両立が難しかった。 ・協議会の会議を優先させてもらえるよう、職場等に理解を求める工夫をした。 ・協議会制度の認知度を上げる努力をもっとしてほしい。 ・自主的審議における地域課題の解決には、地域団体の協力が不可欠 	<p>委員の活動の円滑化・活発化のための理解や協力依頼、周知の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の求めに応じ、市から各委員の勤務先等に委員活動への理解と協力依頼の文書を発出し、委員の勤務先等から理解や配慮をいただける環境づくりを行う。 ・各地域協議会だよりによる周知を継続するほか、委員改選時に実施する市広報の特集記事の掲載に限らず、市ホームページやSNSの活用、活動報告会の毎年開催など、自主的審議等協議会の活動や成果等を市民へ広く周知する方法を検討する。
2 情報共有	<p>地域や他区の情報の収集及び共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他地区の地域課題をもっと情報提供してほしい。 	<p>地域や他区の情報の収集及び共有の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家対策の審議から「(仮称)安心ノート」の取組につながった(清里区)など、自主的審議から課題解決の取組につながった事例を地域協議会へ情報提供し、議論の参考としていただく。 ・各地域協議会における議論の内容や各事務局で把握した情報等を事務局間で情報共有し、自らの区で参考になりそうな事案があれば、地域協議会へ積極的に情報提供を行う。 ・各事務局が可能な範囲で区内の地域団体等の活動計画を情報収集し、地域協議会へ情報提供する。

	主な回答	取組（案）
3 元気事業	<p>「地域を元気にするために必要な提案事業」の目的や活用方法の認知度不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気事業について、取り組み方の基本的なイメージや方法等が委員の多くで共有できなかった。 ・議論を進める上で、元気事業の活用を想定していなかった。 	<p>「地域を元気にするために必要な提案事業」の認知度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域を元気にするために必要な提案事業」の目的の理解や認知度を高めるため、本事業を活用した事例を地域協議会へ周知する。 ・地域協議会での議論の状況を踏まえ、事務局が本事業の活用の検討を促す。

(2) 地域協議会に働きかけるもの

	主な回答	取組（案）
1 意見交換	<p>地域の団体等との情報共有の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会が地域課題の解消に向けて取り組むためには、地域の団体等との意見交換や情報共有が必要 	<p>地域との意見交換の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域協議会に、必要の都度、住民組織、福祉・スポーツ団体、町内会、地域住民等との話し合いを設けるよう促す。
2 開催日程	<p>会議の開催日時及び回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議の開催日時が不定期で、予定が立てにくかった。 ・月1回の会議だけでは取り組むテーマの解消ができない。 	<p>会議への参加のしやすさ、開催頻度の柔軟性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員が会議により参加しやすくなるように、開催日時や回数を柔軟に決めていただくよう促す。
3 会議運営	<p>会議における設定時間の超過</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回1時間程度の協議時間が設定されているが、議論の内容を深めるゆとりがなく時間切れになる。 <p>研修機会や議論における発言の活発化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習会や先進的地域への研修視察を重視すること。 ・委員の責務として、全ての議題に対して各委員から必ず発言していただくような会議運営にしてほしい。 ・協議会に参加してもなかなか発言できなかった。 	<p>会議の柔軟性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議論が深まるよう、必要に応じて日を改めて協議を行うなど、熟議を促す。 <p>議論の深化と活発化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主的審議事項等の議論がより一層深まるよう、議論に必要な情報を得るための視察や研修を促す。 ・多くの委員に発言の機会を設けるため、会議の進行を担う会長に全ての委員へ発言を求めるような配慮を促す。 ・分科会やグループワーク等、小規模な話し合いの場を適宜設けることにより、委員が発言しやすい雰囲気づくりを促す。
4 情報発信	<p>地域協議会だよりを活用した地域協議会への関心の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民等から協議会の活動に関心を持ってもらうため、地域協議会だよりを工夫し委員の声などを載せ、より親しみのある内容にしていく。 	<p>地域協議会だよりの紙面づくりの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主的審議の進捗状況を掲載するなど、広く市民から関心を寄せいただける紙面づくりを促す。

○中長期的な検討を要するもの（主な意見）

- ① 委員資格について
「職場が区内にある人も委員の対象とする」といった委員資格に関するもの
- ② 委員の公募公選について
「立候補者や若い人達の応募が少ない」といった公募公選に関するもの
- ③ 委員の追加・補充選任について
「定員合わせは不要」、「やる気のある人だけで進めるべき」といった委員の追加、補充選任に関するもの
- ④ 議論の深化・活発化について
「地域団体との意見交換の枠を超えるオブザーバー制度の導入」といった議論の深化や活性化に関するもの
- ⑤ 諮問・答申後の情報提供の在り方について
「諮問・答申を経て実施した事業の結果を地域協議会へ報告する」といった諮問・答申後の情報提供の在り方に関するもの
- ⑥ 報酬の要否について
「自主参加とはいえ、拘束時間に対する補償が少ない」、「委員になりたくない理由の一つとして費用弁償だけでは少なすぎる」といった報酬に関するもの

上記のほか、地域活動支援事業に関する意見があったことを踏まえ、「地域活動支援事業は根本的な見直しの時期」、「同じ団体だけが毎年申請する状況が続く点の改善」、「補助対象事業の統一」、「地域協議会提案枠の創設」といった当事業の在り方や運営に関するものについても検討していく。

➤地域協議会の制度自体の在り方に係るこれらの意見に対しては、市議会総務常任委員会で予定される提言等を踏まえながら、引き続き検討を進めていくこととする。

3 今後の予定

- | | | |
|-------|-----|--------------------------------------|
| 令和3年度 | 7月 | ・短期的な取組案を市議会総務常任委員会へ報告 |
| | 7月～ | ・地域協議会に短期的な取組案を周知し、各地域協議会で協議 |
| | | ・すぐに取り組めるものから実施するとともに、各地域協議会へ働きかけを実施 |
| | | ・市で調査結果の分析と中長期的に検討を要する項目の検討を継続 |
| 令和4年度 | | ※市議会総務常任委員会からの提言（予定） |
| | 4月～ | ・市議会からの提言を受けて検討継続 |
| | 年度末 | ・市としての地域協議会の見直し（案）の確定 |